



広田小学校だより

はまなす

校訓 「希望に起ち 充實に活き 感謝に眠る」

陸前高田市立広田小学校
校 報 第 32 号
2026年3月18日

文 責 吉田和浩

大きな成長が見られた 令和7 年度修了式

3月18日（水）、令和7年度の修了式を行いました。式の中で、1年生から5年生までの学年代表に修了証を手渡しました。子どもたちは、どの学年の児童も真剣な表情で、姿勢を正して話を聞くことができました。

担任の先生に名前を呼ばれると、はっきりとした声で返事をする姿が見られ、その堂々とした態度から、この一年間での大きな成長を感じ取ることができました。

校長から、以下の話をしました。

今日は、今年度の修了式の日です。4月の始業式で、私は、みなさんに「今年一年、ぜひ頑張ってもらいたいこと」として、三つのこととお話ししました。覚えていますか。

一つ目は、「やってみる」でした。「なぜだろう」「どうしてだろう」と感じたことを、自分でやってみること。挑戦すること。勉強でも、運動でも、友達との関わりでも、うまくいかどうか分からなくても、「まずやってみよう」と一歩踏み出すことが大切だと伝えました。この一年間、授業の中や行事の中で、「やってみよう」と手を挙げた人、初めてのことに挑戦した人が、たくさんいましたね。その一歩一歩が、みなさんを大きく成長させてくれました。

二つ目は、「がまん強く」です。自分で目標を立てたら、やり続けること。勉強や運動でもすぐにできるようになることばかりではありません。何度も失敗したり、くじけそうになったりした人もいたでしょう。それでも、「昨日より少しでもできるようになる」と、がまんづよく続けたその努力は、必ず、みなさんの力になっています。

三つ目は、「しなやかさ」です。友達や学級のことを受け入れる、しなやかな心をもつということです。考え方が違う友達、得意なことが違う友達、自分とはちがう友達を、「そういう考えもあるんだね」と受け止めることです。友達と意見がちがったり、けんかをしてしまったりとぶつかったこともあったでしょう。それでも、話し合い、分かり合おうとする姿が、広田小学校のあちこちで見られました。それは、とても立派な成長です。

さて、みなさん。この一年を振り返ってみてください。始業式で話した三つのこと、「やってみること」「がまん強く続けること」「しなやかに友達を受け入れること」ができたでしょうか。「できた」と思える人も、「まだ途中かな」と思う人も、どちらも大切です。大事なものは、考え、振り返り、次へつなげることです。みなさんは、この一年で、

確実に一歩ずつ前に進みました。それを、とても誇りに思います。春からは、一つ上の学年です。今日の自分を土台にして、また新しい一年を、自分らしく歩んでください。

大きな事故やけがもなく、子どもたちは毎日元気に、そして明るい気持ちで学校生活を送ることができました。これもひとえに、保護者の皆様や地域の皆様から、日頃より学校へ多大なるご支援とご協力をいただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

明日は、いよいよ6年生の卒業式を迎えます。これまで広田小のリーダーとして学校を力強く支えてくれた6年生13人を、職員と在校児童で、心を込めて送り出したいと思います。

事故や大きなけがのない春休みに

修了式後に、生徒指導担当から春休みの安全な暮らしについての指導がありました。（詳しくは「春休みの暮らし」をご覧ください。春になり、温かくなると活動がしやすくなります。また、子どもたちは、進学や進級ということに心を膨らませ、わくわく、そわそわしがちです。そのせいか、春は子どもの交通事故が多くなります。事故や事件等にあわないように声かけをお願いします。春休みは次の学年への準備期間です。規則正しい生活と学習のまとめができるよう、家庭での支援をお願いします。

6年生潮風トレイルオリジナルマップ贈式を実施

3月3日、6年生が総合的な学習の時間に取り組んできた「潮風トレイルオリジナルマップ」の贈呈式を行いました。このマップづくりは昨年6月にスタートしました。子どもたちは実際にトレイルルートを歩き、広田を訪れるハイカーの方々と交流しながら、地元の魅力をどのように伝えるかを考えてきました。活動を通して得た情報をもとに、広田の特



長をわかりやすく紹介するイラストを盛り込み、見て楽しめるマップに仕上げました。さらに、2チームに分かれて「きれいな海を守ろう」「広田の伝説」をテーマとした紹介動画も制作しました。動画はマップに掲載したQRコードから視聴することができ、地図と映像の両面から地域の魅力を発信できる構成となっています。贈呈式には、市観光物産協会、NPO法人みちのくトレイルクラブ、環境省三陸復興国立公園管理事務所大船渡管理官など4名の方が来校されました。子どもたちは、自分たちが心を込めて作ったマップを一人ひとりに直接手渡しました。市観光物産協会の方からは、「みんなの広田が大好きという気持ちが伝わるマップになった。多くの人がこのまちを訪れるきっかけになる」

と温かいお言葉をいただき、子どもたちの努力が大いに励まされました。6年生はこの1年間の体験的な学習を通して、広田の自然や文化、人の温かさをこれまで以上に感じ取り、地域への誇りと愛着を深めることができました。